

# 第4次加賀市社会福祉協議会

## 地域福祉活動計画2026

### スローガン

やさしさが広がる加賀市を目指して  
～つながり・支えあい・安心の輪を広げて～



つながり



支えあい



あんしん

令和8年3月

社会福祉法人 加賀市社会福祉協議会

# 目 次

○地域福祉活動計画の策定にあたって 1. 計画の背景	1
○2. 計画策定における考え方	2
○各地区等の意見	5
○第3次地域福祉活動計画から第4次地域福祉活動計画へ繋いでいくこと	8
○第4次加賀市社会福祉協議会地域福祉活動計画 事業展開	9
○基本目標1 つながる機会をつくろう	10
○基本目標2 支えあう地域をつくろう	12
○基本目標3 安心できる地域をつくろう	14
○地域福祉活動計画評価について	16
資料	
○用語解説	17
○第3次加賀市社会福祉協議会地域福祉活動計画目標管理票(評価入)	20
○地区活動計画	30

# 地域福祉活動計画の策定にあたって

## 1. 計画の背景

全国的に少子高齢化が進み、家族の形態や人々の価値観、ライフスタイルが多様化し、さらに新型コロナウイルス感染症の影響による生活環境の変化も加わり、地域のつながりが希薄化していると言われています。また、一人暮らし高齢者、高齢者のみ世帯、身寄りがない高齢者の増加など支援を必要とする高齢者の増加や、孤独死、ひきこもり、生活困窮者、障がいのある人の自立支援など様々な課題が山積しており、住民の福祉へのニーズが多様化・複雑化しています。

そのため、一人ひとりのニーズに対応し、幸せな生活を実現していくためには、公的なサービスだけでなく、地域で互いに助け合い、支え合うことが必要になっています。

加賀市では、令和7年4月に「ともに支えあう健康でこころゆたかなまちづくり」を基本理念として加賀市福祉こころまちプラン(第5期加賀市地域福祉計画)を作成しました。加賀市社会福祉協議会においても整合性を図りながら、より地域に即した地域福祉の充実を目指し「第4次加賀市社会福祉協議会地域福祉活動計画」を策定します。

## 2. 計画策定における考え方

### ◆地域福祉とは

「地域福祉」とは、それぞれの地域において人びとが安心して暮らせるよう、地域住民や公私の社会福祉関係者がお互いに協力し支え合い、住み慣れた地域で、全ての人々が安心して地域社会の福祉課題の解決に取り組む考え方です。

### ◆地域福祉活動計画とは

地域福祉活動計画は、社会福祉協議会が呼びかけて、住民、地域において社会福祉に関する活動を行う者、社会福祉を目的とする事業（福祉サービス）を経営する者が相互協力して策定する地域福祉の推進を目的とした民間の活動・行動計画です。

### ◆計画の意味と位置づけ

地域福祉活動計画は、地域や住民、行政などの公的機関等が協働して、自助、互助、共助、公助が一体となる包括的な体制と共に、「助け合い」「支えあい」の気持ちを育みながら、地域福祉の推進を図る必要があります。

「第4次加賀市社会福祉協議会地域福祉活動計画」は、「ともに支えあう健康で豊かなまちづくり」を目指し、ここから5年間、何を目標にとど

んなことに力を入れて取り組んでいくかを示すものです。

## 地域福祉活動計画では…

### 目標イメージの明確化

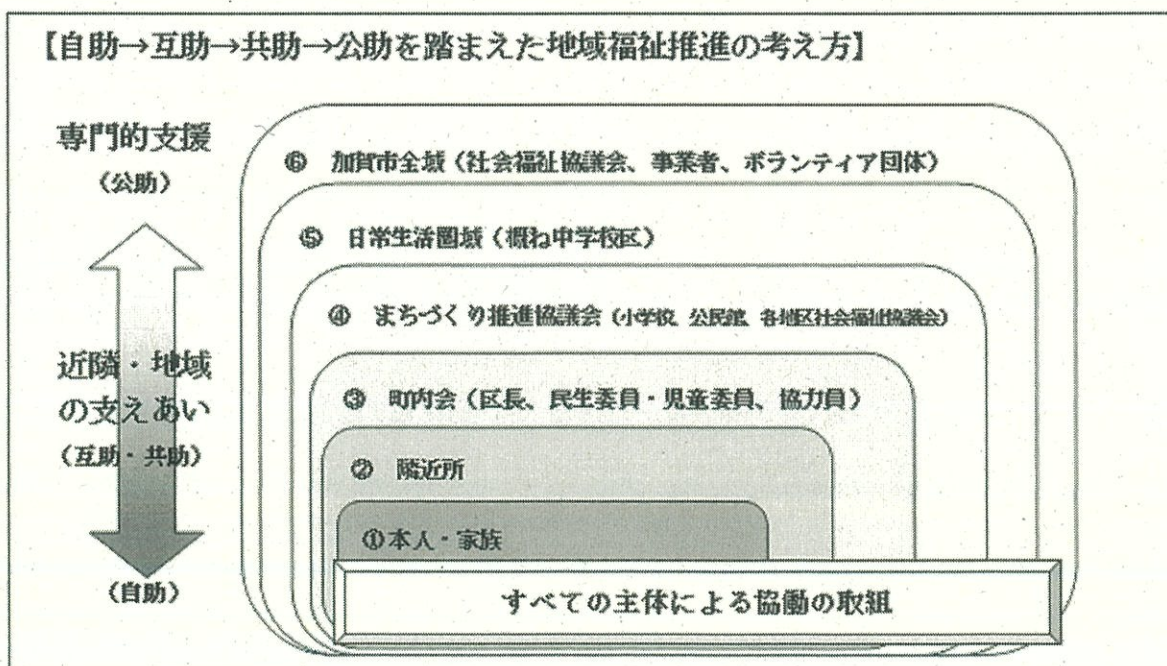
複雑多様化する地域福祉課題の解決に向けてそれぞれが活動し、取り組んでいくための「目標」を共有し、進むべき方向性を決めること

### 住民主体

公助だけに頼らず、「自分たちの町（地区）を自分たちで良くしていく」自助、互助、共助のチカラを最大限に生かした地域づくりを目指すこと

### 連携と協働

住民や地域、行政、福祉関係機関・団体がそれぞれの役割を考え、様々な場面で連携・協働していける体制を目指すこと



#### ◆計画期間

計画の期間は、2026年度（令和8年度）から2030年度（令和12年度）までの5年間とし、第5期加賀市地域福祉計画との整合性を図りながら、長期的な視野に立った計画として策定します。

## 各地区等の意見

《ききとり訪問》

キーワード：つながり

- ・サロンなど男性の参加率が低い。
- ・住民同士の繋がる機会が少なくなっているため、イベントなどを通して仕掛けていくことが必要ではないか。
- ・地区でサロンや教室などを開催してもいいがわざわざ集まって来ないかもしれない。自然発生的な集まる場所があるといいかもしれない。(町民会館前ベンチなど) ⇒座って話ができる場
- ・学校が閉校となり、学校の行事などを通して交流する機会がなくなった。

キーワード：支えあい(話し合う・学ぶ)

- ・見守り活動は、高齢者だけではなく子どもについても考えていけるといい。
- ・地域の中で区長、班長、民生委員など関係者が集まり、情報交換、課題を共有する時間が必要ではないか。
- ・有志で子ども登下校時の見守りを行っているが、協力者を募るがなり手がいない。
- ・地域の区長さん等が地域福祉についての理解を深める機会があるといい。

- ・各町の会館などを活かしていけるといい。
- ・空き家の管理について、次世代の方が遠方にいるケースが多いので、さらに問題になるのではないかな。
- ・地域活動にかかわる担い手不足で、今後さらに課題になっていくと思う。
- ・地域にある各機関（福祉施設、学校など）と協働での活動ができるといい。
- ・これから人口の増加は見込めないなので、減少するなかで地域活動をどう進めていくかを考えていくことが大事ではないかな。
- ・コロナの影響により、地域の行事などに対する住民の意識が薄れた。

#### キーワード：安心できる地域

- ・地域に高齢者こころまちセンターなど相談機関があるが知らない人がいるのでもっと広報した方がいい。
- ・防災力を高めていきたい。日頃からの住民同士のかかわりを作っていけるといい。
- ・安心カードを更新していくことが大事。

#### 《評価委員・団体》

#### キーワード：つながり

- ・障がい者同士の仲間づくりの機会が作れるといい。

- ・高齢男性の参加が少ないので、男性を対象とした取り組みができるといい。

- ・障がい者が参加できる機会を作ってほしい。当事者主体で活動できる機会を作れるといい。

- ・こどもが意図的であっても自然な形で地域の人とふれあえる機会があるといい。(家族以外の人とかかわる機会)

- ・楽しみとなる活動は口コミで広がる。健康麻雀、カラオケなど楽しみとなる活動の機会があるといい。

- ・第一線を退いてから、会社とは違うところでの楽しみとなる機会を作れるといいのではないか。

キーワード：支えあい(話し合う・学ぶ)

- ・町の役員、老人クラブなどリーダーがおらず活動できないところもある。リーダー育成が必要。

- ・健常者が障がい者やひきこもりの人とかかわる機会がなく、わからない。

- ・福祉協力員が活躍できる機会や福祉について知る機会を作れるといい。

キーワード：安心できる地域

- ・避難行動要支援者名簿に障がい者があまり登録されていない。

- ・民生委員と福祉協力員が連携できるといい。

第3次地域福祉活動計画から第4次地域福祉活動計画へ繋いでいくこと

第3次活動計画	第3次活動計画実施目標	第3次活動計画具体的取り組み	第4次活動計画へつなぐこと	第4次活動計画基本目標・目指すこと
<p>主体的な住民参加によるまちづくり</p>	<p>地域の福祉に関する学びの機会の充実と地域福祉活動の担い手育成</p> <p>地域住民の交流促進</p>	<p>1. 学びの機会をつくる</p> <p>2. 活動の機会づくり</p> <p>3. 地域の福祉活動の担い手育成と支援</p> <p>1. 高齢者の社会参加</p> <p>2. 障がいがある方の社会参加</p> <p>3. こどもの社会参加</p> <p>4. 人と人とのつながりの機会を作る取り組みの検討</p>	<p>・様々な人がボランティアや助け合い活動にかかわる機会がある良い。(支えあい意識の醸成、お互い様精神)</p> <p>⇒人に支援してもらって嬉しかったことを普及</p> <p>・老人クラブ等、リーダーの担い手不足が深刻であり、メンバー同士が役割分担し、支えあえる関係づくりが必要</p> <p>要</p> <p>・地域でのつながりを把握できる取り組み(自然発生的な集まりの場や地区の集いの場の把握や取り組み)</p> <p>・サロン参加者は女性が多く、男性の参加が少ない。性別等が関係なく気軽に参加できる環境づくりが必要</p> <p>・住民同士がかかわるきっかけが少なく、趣向味等を通じて人と人が繋がるきっかけ作りが必要</p>	<p><b>実施目標：つながる機会をつくる</b></p> <p>目指すこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア、助け合い活動への機会づくり</li> <li>・多様な人が参加できる機会づくり</li> <li>・住民同士がつながるきっかけづくり</li> <li>・生きがいがいづくり</li> <li>・つながりの情報整理</li> </ul> <p>市計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域活動の担い手の育成・確保</li> <li>・地域住民の交流促進</li> </ul> <p><b>実施目標：支えあえる地域をつくる</b></p> <p>目指すこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地区での課題共有する場づくりと学びの機会</li> <li>・相談支援の課題を地域で支える活動へつなげる</li> <li>・地区と企業、団体等と災害時の協力検討</li> <li>・地域福祉活動充実への取り組み</li> </ul> <p>市計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域福祉に関する情報提供と学びの機会の充実</li> <li>・地域共生社会実現に向けた包括的な支援体制整備</li> <li>・地域福祉活動へのサポート体制の推進</li> <li>・多様な団体との連携</li> </ul>
<p>手をつなぎ、みんなを支えあうまちづくり</p>	<p>地域見守り支え合いネットワークの促進と地区との連携強化</p> <p>多様な団体との連携強化</p>	<p>1. 地区社協の活動支援</p> <p>2. 地区座談会開催</p> <p>3. 要支援者について地区関係者との共有</p> <p>4. 「避難行動要支援者名簿」への登録動員</p> <p>5. 介護サービス事業者等への情報共有・連携</p> <p>1. 社協賛助会員等を増やす</p> <p>2. 「支え合い寄付金」への寄付の呼びかけ等</p> <p>3. 事業を通して企業、団体等の協賛呼びかけ</p> <p>4. 共同募金委員会との連携</p> <p>5. 地区と企業、団体等と災害時の協力検討、マニュアル作成</p> <p>6. 企業や団体等の社会貢献活動発信、紹介できる体制づくり</p>	<p>⇕</p> <p>・地区座談会等で行われた課題について継続した話し合いの場が必要であり、必要に応じて地域で学ぶ機会があること</p> <p>・民生委員、福祉協力量員、見守り活動の普及</p> <p>・介護サービス事業者等と地域での課題について共有し、お互いに協力し合えることについて話し合い、連携できる機会があると良い。(お互いの人材不足、福祉の知識など)</p> <p>・社会福祉法人間連携への取り組み検討</p> <p>・地域福祉活動の原資となる共同募金運動推進</p> <p>・相談支援の課題を地域で支える活動へと繋げる取り組み(フードドライブ、こども食堂など) ⇒地域・企業等への学びの機会として地域へ発信</p>	<p>市計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域福祉に関する情報提供と学びの機会の充実</li> <li>・地域共生社会実現に向けた包括的な支援体制整備</li> <li>・地域福祉活動へのサポート体制の推進</li> <li>・多様な団体との連携</li> </ul> <p><b>実施目標：安心できる地域をつくる</b></p> <p>目指すこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域での福祉情報提供・発信</li> <li>・相談体制の充実</li> <li>・平常時から災害に備えた地域づくり</li> </ul> <p>市計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・権利擁護の推進</li> <li>・相談体制の充実</li> <li>・避難行動要支援者への支援・防災体制の促進</li> </ul>
<p>生活しやすい体制づくり</p>	<p>相談体制の充実</p>	<p>1. 社会福祉協議会内の相談内容共有・連携</p> <p>2. 行政機関・民生委員児童委員協議会等との連携を図り、課題解決に努める。</p> <p>1. PR研修会の開催</p> <p>2. 相談員・後見支援員の確保のための取り組み</p> <p>3. 成年後見制度申立て支援</p> <p>4. 成年後見制度を利用する方の積極的支援</p>	<p>・必要な人が必要な相談機関へ相談できる体制づくり(相談機関の周知、SNS活用)</p> <p>・将来を見据え、これからの暮らしを安心して迎える準備のための成年後見制度、遺言、死後事務委任契約等について知る機会づくり</p> <p>・相談員スキルアップと地域との連携強化</p> <p>・災害に備えた地域づくり支援</p>	<p>市計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・権利擁護の推進</li> <li>・相談体制の充実</li> <li>・避難行動要支援者への支援・防災体制の促進</li> </ul>

## 第4次加賀市社会福祉協議会地域福祉活動計画

### 事業展開

#### 1. 基本理念

「ともに支えあう健康で心豊かなまちづくり」

この基本理念は、加賀市福祉こころまちプラン(第5期加賀市地域福祉計画)と第4次加賀市社会福祉協議会地域福祉活動計画が連携・協働し活動をすすめるため基本理念として位置付けました。

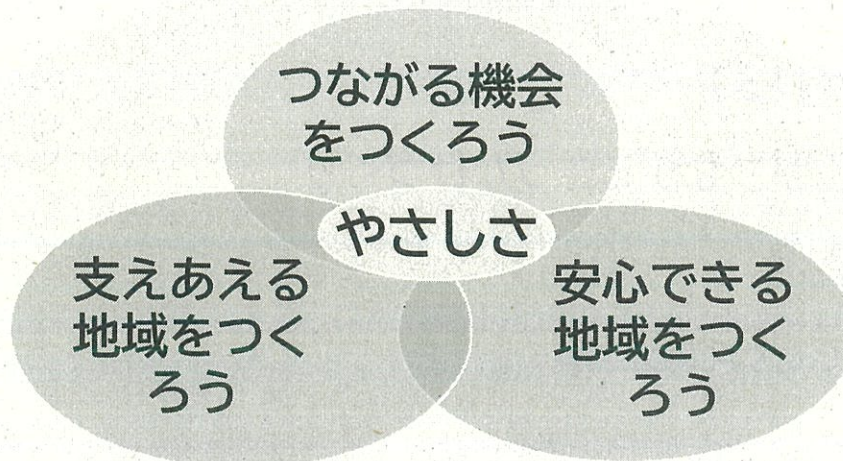
#### 2. 活動方針

この活動計画は、「地域共生社会の実現」「お互いさま(互助)の推進」を目指し、地域の活動者、福祉活動団体、福祉事業者等が、これからの5年間、何を目標にどんなことに力を入れて取り組んでいくかを示すものです。

### 加賀市の福祉活動計画目標

やさしさが広がる加賀市を目指して

～つながり・支えあい・安心の輪を広げて～



<b>基本目標 1</b>	<b>つながる機会をつくろう</b>
---------------	--------------------

近年、住民同士が関わる機会が少なくなり、助け合いが生まれにくくなっていると言われていています。だからこそ、誰もが気軽に参加でき、楽しみながら人とつながれる場を広げていくことが大切であり、人と人がかかわり合うことで安心が生まれ、その“つながり”がめぐりめぐって地域全体の力になっていくことを目指します。

【つながり 1】

ボランティア・助け合い活動への機会づくり

取り組み例

- ・ ボランティア講座、体験など

【つながり 2】

多様な人が参加できる機会づくり

取り組み例

- ・ 障がいのある方など多様な人が交流できる場づくり
- ・ 地域サロン

【つながり 3】

住民同士がつながるきっかけづくり

取り組み例

- ・ 地域で行われる行事

- ・ 趣味を通じた交流など

- ・ 地域サロン

【つながり4】

生きがいづくり

取り組み例

- ・ 楽しみとなる活動を通じた交流会(健康麻雀など)

【つながり5】

つながりの情報整理

取り組み例

- ・ 地域の情報整理

- ・ 地域での福祉情報の発信

## 基本目標2 支えあえる地域をつくろう

地域には住民がまだ十分に気づいていない課題が存在しています。これらの課題を住民が知り、学び、情報を共有し、関係機関や地域の団体、福祉事業者等が連携・協働を深め、様々な取り組みの方法が考えられ、それらが次の行動へとつながり、誰もが安心して暮らせる支え合いの地域づくりを目指します。

### 【支えあい1】

課題共有する場づくりと学びの機会

#### 取り組み例

- ・ 地区座談会
- ・ 地区学習会

### 【支えあい2】

相談支援の課題を地域で支える活動へつなげる

#### 取り組み例

- ・ 市社会福祉協議会と地区社会福祉協議会との情報共有

### 【支えあい3】

地区と企業、団体等と災害時の協力検討

#### 取り組み例

- ・ 企業、団体等の災害時の協力体制づくり

### 【支えあい4】

## 地域福祉活動充実への取り組み

### 取り組み例

- ・ 社会貢献活動の推進

## 基本目標3 安心できる地域をつくろう

地域の中で困っている人が気軽に相談できる人や場所へ繋がるための情報発信の工夫や相談機関周知等体制づくりとともに地域連携を含めた人材を育てていくことは必要です。

また、災害への不安も高まる中、平常時から災害に備える取り組みとして、避難行動要支援者名簿活用等、地域の中で情報を共有し合える環境を整えていき、安心できる地域づくりを目指していきます。

### 【あんしん1】

地域での福祉情報提供・発信

#### 取り組み例

- ・福祉の情報発信(まちづくり広報等との連携)

### 【あんしん2】

相談体制の充実

#### 取り組み例

- ・職員のスキルアップ
- ・関係機関・職員間連携

### 【あんしん3】

平常時から災害時に備えた地域づくり

#### 取り組み例

・地域見守り支え合いの推進

## 地域福祉活動計画評価について

### 1. 評価期間・評価者

評価期間	評価実施年度	評価者
令和8～9年度	令和10年度	地区社会福祉協議会 まちづくり推進協議会 福祉団体
令和10～12年度	令和12年度	地区社会福祉協議会 まちづくり推進協議会 福祉団体
令和8～12年度	令和12年度	加賀市社会福祉協議会

### 2. 評価方法

アンケート	地区社会福祉協議会 まちづくり推進協議会 福祉団体
評価シート	加賀市社会福祉協議会

# 資料



## 用語解説

あ行

SNS <sup>エスエヌエス</sup> SNSとは、「Social Networking Service(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)」の略です。インターネット上で人と人がつながり、情報をやり取りできるサービスのことをいいます。

か行

ききとり訪問

加賀市社会福祉協議会が、地区の強みや課題を確認し、次年度以降の取り組みについて話し合いを行う場をもつために地区を訪問している活動

共同募金

共同募金運動は、都道府県を単位に行われています。各都道府県内で共同募金としてお寄せいただいたご寄付は、同じ都道府県内で、子どもたち、高齢者、障がい者などを支援するさまざまな福祉活動や、災害時支援に役立てられます。

共同募金運動の期間は10月1日から翌年3月31日までの6か月間で、全国一斉に行われます。

健康麻雀

「賭けない・飲まない・吸わない」を合言葉に「健康づくり・仲間づくり・生きがいづくり」を目的とした麻雀

権利擁護事業

高齢者や障がい者など、判断能力に不安がある方々の権利を守るための支援を提供する事業です。(例えば成年後見制度、日常生活自立支援事業など)

こども食堂

子どもやその保護者等に対して、無料または安価で栄養のある食事を提供し、地域のコミュニティを育む活動です。

さ行

サロン

地域福祉におけるサロンは、地域住民が気軽に集まり、交流し、支え合うための居場所として位置づけられています。高齢者を中心に、子どもや子育て世代、障害のある人など、誰もが参加できる開かれた場であり、地域のつながりを育む役割を担っています。

加賀市では、高齢者の介護予防、交流の場として地域おたっしゅサークル、いきいきサロン等とされています。

支え合い寄付金

市内各地区で顕在化する福祉課題を解決するため、地区福祉活動の財源を確保するための寄付金と、市内における寄付文化の醸成を目的とした、地区循環型寄付金制度

社会貢献 個人や企業が社会をより良くする活動

社会福祉協議会

社会福祉協議会は、社会福祉法第109条により社会福祉を目的とする事業の企画・実施や、調査・連絡調整などを行う地域福祉推進の中心的な担い手として位置づけられています。

成年後見制度

認知症、知的障害、精神障害などによって物事を判断する能力が十分ではない方について、本人の権利を守る人(「後見人」等)を選ぶことで、本人を法律的に支援する制度です。

た行

地域共生社会

制度・分野ごとの『縦割り』や「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が『我が事』として参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えて『丸ごと』つながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会

地域見守り支えあいネットワーク

日頃の見守りや災害時に支援が必要な人をあらかじめ把握し、名簿(避難行動支援助者名簿)により地域の支援者が情報共有することで、見守りの互助・共助の輪を広げる制度です。

民生委員・児童委員は、日々の見守り活動の中で制度の登録勧奨を行うなど、支援が必要な人の登録を進めています。

## 地区座談会

区長、民生委員児童委員、福祉協力員など地域の見守り活動関係者が集まり、高齢者や障がいのある方などの見守り活動の状況や連携方法など、「避難行動要援護者名簿」を確認しながら情報交換や災害に備えた見守り体制について話し合う場として開催いたします。地域によっては、幅広い情報共有の場として活用している。

## は行

### 避難行動要支援者名簿

ひとり暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯、介護や障がい認定で一定以上の判定がある人が主な対象となり、災害対策基本法により「避難行動要支援者名簿」の作成が市の義務として作成されている名簿です。

### 福祉協力員

福祉協力員は、区長と民生委員児童委員両名の推薦により、加賀市社会福祉協議会長と地区社会福祉協議会長が委嘱する地域の福祉ボランティアです。支援を必要とする方へのさりげない見守りで異変への気づきから、民生委員、区長、地区社協、まちづくり推進協議会等へつなげる活動です。

### フードドライブ

ご家庭で余っている食品などをご寄附いただき、福祉施設や団体、困窮する世帯等は無償で提供するボランティア活動です。

※「ドライブ」とは「運動」「キャンペーン」という意味です。

## ま行

### 民生委員児童委員・主任児童委員

自らも地域住民の一員として、それぞれが担当する区域において、住民の生活上のさまざまな相談に応じ、行政をはじめ適切な支援やサービスへの「つなぎ役」としての役割を果たすとともに、高齢者や障がい者世帯の見守りや安否確認などにも重要な役割を果たしています。主任児童委員は、担当区域を持たず、子どもや子育てに関する支援を専門に担当する民生委員・児童委員です。

## 第3次加賀市社会福祉協議会地域福祉活動計画目標管理票(評価入)

基本目標	主体的な住民参加によるまちづくり	実施 年度	3	○
			4	○
方策	地域の福祉に関する学びの機会の充実と地域福祉活動の担い手育成		5	○
			6	○
			7	○
実施目標	地域の福祉を応援する人づくり			
実施方法 並びに 具体的 取り組み	<p>1 学びの機会をつくる</p> <p>①地域の課題について話し合う (地区座談会、地域福祉部会、児童部会等)</p> <p>②課題に合わせた学習の機会をつくる (ボランティア講座、見守り講座、防災講座、成年後見制度講座等)</p> <p>2 活動の機会づくり (地域見守り支えあいネットワーク、高齢者おたっしゅサークル、障がい者スポーツ大会、地域の福祉施設等)</p> <p>3 地域の福祉活動の担い手育成と支援</p> <p>①民生委員児童委員②福祉協力員③後見支援員④サロン等の世話人 ⑤ボランティア</p>			
実施社協	市社協・地区社協	委員評価		
事務局評価 (評価日) 令和7年9月5日	<p>1. 目標達成できた</p> <p>②. 一部達成できた</p> <p>3. 目標達成できなかった</p>	<p>①. 目標達成できた</p> <p>2. 一部達成できた</p> <p>3. 目標達成できなかった</p>		
実践状況	<p>1-① 地区座談会は、各地区で区長、民生委員、福祉協力員などに参加いただき、避難行動要支援者名簿をもとに日頃の見守りから災害時の見守りに備え情報交換、共有をおこなった。 地域福祉部会は、地区社会福祉協議会と共に地域福祉活動の推進と充実を図ることを目的に、年4回開催した。 児童部会は、児童センターと各団体の連絡調整を図り、児童センターを拠点に地域における児童福祉活動の推進と充実を図ることを目的に開催した。</p> <p>1-② コロナの影響でボランティア活動全体が停滞していたが、R7年度に新たな人材発掘と、互いに学びあい地域で活躍していただく人材の育成を目的にボランティア講座を実施した。 見守り講座、防災講座、成年後見制度講座等は、見守り座談会や各種団体の勉強会等を通して開催した。</p>			

<p>実践状況</p>	<p>2 活動の機会づくりとして、地域見守り支え合いネットワークは地区座談会等で制度の周知を行い見守り活動への協力をお願いした。高齢者おたっしやサークル、障がい者スポーツ大会等を通じて、高齢者や障がいのある方等の社会参加と健康増進を図ることを目的におこなった。</p> <p>3 担い手育成と支援について、チラシ等を作成やボランティア講座をおこない担い手の支援をおこなってきたが、民生委員、福祉協力員、後見支援員、サロン等世話人、ボランティアとも人材不足や高齢化、コロナの影響により十分な支援はできなかった。</p>
<p>評価委員 の意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区座談会など含めて活動の機会への取り組みは行っている。</li> <li>・担い手の高齢化が著しく、後継者育成が難しい。民生委員や町の役員などなり手不足。</li> <li>・老人クラブ活動希望者はいるがリーダーがいないことで活動ができない地区のある。リーダー育成ができるといい。</li> <li>・第一線を退いてから、会社などとは違うところでの楽しみとなる機会がつかれるといいのではないか。</li> <li>・中途障がい者の方は身障協会など団体に入らない傾向があると思う。最近、ボランティアの方のふれあいの機会はできていると思うが、障がい者の仲間同士のふれあいの機会が得にくい。</li> <li>・障がい者やひきこもりにかかわる機会がなくわからない。</li> <li>・福祉協力員が活躍できる機会があるといいし、意識が高くなるといい。</li> </ul>

## 第3次加賀市社会福祉協議会地域福祉活動計画目標管理票(評価入)

基本目標	主体的な住民参加によるまちづくり	実施 年 度	3	○
			4	○
			5	○
			6	○
			7	○
方策	地域住民の交流促進			
実施目標	社会参加の機会をつくる			
実施方法 並びに 具体的 取り組み	<p>1 高齢者の社会参加 ふれあいいいきサロンや老人福祉センターの活用を行う</p> <p>2 障がいがある方の社会参加 ①事業をとおして、身体障害者福祉協会等、団体と連携する ②地域活動支援センターや就労継続支援B型施設の事業内容を検討し、参加しやすい場づくりを行う</p> <p>3 子どもの社会参加 ①児童センター等を活用し、子どもの居場所づくりの検討 ②子どもが楽しみながら学べる場づくりを行う (マネプラン講座(仮)など)</p> <p>4 人と人とのつながりの機会を作る取り組みの検討 (ふれあいの機会づくり)</p>			
実施社協	市社協	委員評価		
事務局評価 (評価日) 令和7年9月5日	<p>1. 目標達成できた</p> <p>② 一部達成できた</p> <p>3. 目標達成できなかった</p>	<p>① 目標達成できた</p> <p>2. 一部達成できた</p> <p>3. 目標達成できなかった</p>		
実践状況	<p>1 おたっしゃサークルなど高齢者が集う場は、コロナで一旦休止したが、徐々に復活し数も増加してきている。山中老人センター利用者も増加してきている。老人クラブのクラブ数は減少している。</p> <p>2-① 障がい者スポーツ大会、かがりび作品展などを実施し、障がいのある方の社会参加を促した。</p> <p>2-② 地活やまなかは、手工芸や体操、レクリエーション等をおこない、障がいのある方の利用をいただいている。利用者増に向けた実施内容の検討は必要。就労BアットワークはR5年3月で閉鎖した。</p>			

実施状況	<p>3-①② 児童センターを子どもの居場所として位置づけ、移動児童センターを実施した。また、児童のやりたいという気持ちを大事にし、実現に向けた環境や機会を提供するよう努めている。R6年度からサテライトルームとして不登校児の居場所として位置づけられた。行事を計画する際にも、活動内容などアイデアを取り入れ、主体的に動けるようサポートしている。</p> <p>4 児童センターでは、行事を通して多くの地域住民と楽しみながら交流する場を作ることができた。また、地域住民の方に講師を行っていただき、伝統や食文化などを子どもたちが楽しく学び体験する機会を作ることができた（味噌づくり、しめ縄づくりなど）。各地区社協の事業は、コロナで休止していたが、徐々に復活し敬老会などを通じて、つながりの機会を作る取り組みができてきた。</p>
評価委員の意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 様々な活動の場は作っていると思う。</li> <li>・ 高齢男性の参加が少ないので男性を対象とした取り組みができるといい。</li> <li>・ 楽しみとなる活動は口コミでも広がる。健康麻雀、カラオケなど楽しみとなる活動ができるといい。今年は健康麻雀大会が開催予定。</li> <li>・ 相撲は男性も女性も一緒に楽しむことができる。</li> <li>・ 障がい者(障がい、年齢に関係なく)が参加できる機会を作ってほしい。当事者主体で活動できる機会を作れるといい。</li> </ul>

## 第3次加賀市社会福祉協議会地域福祉活動計画目標管理票(評価入)

基本目標	手をつなぎ、みんなで支えあうまちづくり	実施年度	3	○	
			4	○	
方策	地域見守り支えあいネットワークの推進と地区との連携強化		5	○	
			6	○	
			7	○	
実施目標	地域とのつながりの強化と活動への支援				
実施方法 並びに 具体的 取り組み	<p>①地区社会福祉協議会の活動を支援し、地区ごとの課題に基づいて、各地区での見守り活動計画を地区と協働でつくる</p> <p>②見守り活動計画に基づき、地区座談会を地区と協働で開催する</p> <p>③要支援者について、地区関係者（区長、民生委員、福祉協力員等）との共有を図る</p> <p>④「避難行動要支援者名簿」への登録が必要な方に勧奨し、登録者を増やす（登録者の割合）</p> <p>⑤介護サービス事業者や防災団体等と情報共有、連携を図る（地区座談会、地区防災対策、災害時の対応等について）</p>				
実施社協	市社協・地区社協	委員評価			
事務局評価 (評価日) 令和7年9月5日	<p>1. 目標達成できた</p> <p>②. 一部達成できた</p> <p>3. 目標達成できなかった</p>	<p>1. 目標達成できた</p> <p>②. 一部達成できた</p> <p>3. 目標達成できなかった</p>			
実践状況	<p>①ききとり訪問時に地域の方と振り返りを行いながら、次年度の計画を策定。全地区策定には至らなかった。</p> <p>②地域の課題を参加者と一緒に共有できるような座談会になるよう開催。R6年度は初めて全17地区で座談会が開催できた。</p> <p>③座談会で要支援者名簿に登録のない方も共有できるよう地図を用いて情報の共有を図った。</p> <p>④座談会で要支援名簿に登録ない方は、区長や福祉協力員にも協力いただき、登録勧奨していただいた。</p> <p>⑤座談会で自主防災、地区こころまちセンターに参加していただいた</p>				

評価委員  
の意見

- ・避難行動要支援者名簿に障がい者の人の登録がされていない。
- ・民生委員と福祉協力員との連携ができていない。
- ・福祉協力員は地域によって人数や内容にも差がある。福祉協力員は地域にできるだけいた方がいいと思う。

第3次加賀市社会福祉協議会地域福祉活動計画目標管理票(評価入)

基本目標	手をつなぎ、みんなで支えあうまちづくり	実施 年 度	3	○	
			4	○	
方策	多様な団体との連携強化		5	○	
			6	○	
			7	○	
実施目標	地域の企業、団体等による社会貢献活動への参加の呼びかけ				
実施方法 並びに 具体的 取り組み	<p>①市社会福祉協議会賛助会員等を増やす</p> <p>②地区社会福祉協議会「支えあい寄付金」への寄付の呼びかけ、財源の確保</p> <p>③事業を通じた企業、団体等の協賛の呼びかけ (各種イベント、フードドライブ等)</p> <p>④共同募金委員会との連携(募金活動の協力、助成金の活用)</p> <p>⑤地区と企業、団体等と災害時の協力について検討し、マニュアルを作成する</p> <p>⑥企業や団体等の社会貢献活動について、様々な媒体を通して発信、紹介できる体制を整える (福祉施設、地域団体等との連携の促進)</p>				
実施社協	市社協	委員評価			
事務局評価 (評価日) 令和7年9月5日	<p>1. 目標達成できた</p> <p>2. 一部達成できた</p> <p>③ 目標達成できなかった</p>	<p>1. 目標達成できた</p> <p>② 一部達成できた</p> <p>3. 目標達成できなかった</p>			
実践状況	<p>①R6年度、前年度から1割増となり、初めて600口を超えた。</p> <p>②支えあい寄付金の呼びかけができておらず、財源確保まで至っていない。今後の課題。</p> <p>③障がい者スポーツ大会の協賛、フードドライブの協力など、企業、団体等からの協力を得られた。</p> <p>④R7は共同募金助成金を活用し、ボランティアの育成事業を実施することができた</p> <p>⑤災害ボランティアセンター運営マニュアル案は作成したが、協議まですることができなかった。</p> <p>⑥福祉法人法人間連携や企業等への働きかけを行うことはできなかった。</p>				

<p>評価委員 の意見</p>	<p>・できている項目とできていない項目があり、できなかった項目を取り組んでいけるといい。</p>
---------------------	---

## 第3次加賀市社会福祉協議会地域福祉活動計画目標管理票(評価入)

基本目標	健やかで、安心できる生活しやすい体制づくり	実施 年 度	3	○
方策	相談体制の充実		4	○
			5	○
			6	○
			7	○
実施目標	社会福祉協議会内にある相談窓口の強化			
実施方法 並びに 具体的 取り組み	<p>①社会福祉協議会内の相談内容共有と連携を図る (ボランティア相談、自立支援相談、かが成年後見センターほっこり相談、生活福祉資金貸付相談、地域からの相談等)</p> <p>②行政機関・民生委員児童委員協議会・保護司会・NPO等との連携を図り、課題解決に努める (経済的な生活困窮について、関係機関等と横断的な相談支援を行う)</p>			
実施社協	市社協	委員評価		
事務局評価 (評価日) 令和7年9月5日	<p>1. 目標達成できた</p> <p>②一部達成できた</p> <p>3. 目標達成できなかった</p>	<p>1. 目標達成できた</p> <p>②一部達成できた</p> <p>3. 目標達成できなかった</p>		
実践状況	<p>①地域福祉係を地域福祉班、相談支援班に分け、相談支援班では権利擁護、生活困窮、生活福祉資金の相談を行い相談員間で情報共有を行うようにした。</p> <p>②市役所担当課とはケース支援や会議を通して情報共有を行うことができた。</p> <p>②児童センターでは『子育て寄り添いおむつ事業』の受け渡し時に子育てに関する悩みや不安、困りごと等がないかを確認したり、子育てに関する地域の情報などを提供した。また、必要に応じて子育て応援ステーションなどの関係機関に繋がった。</p>			
評価委員 の意見	・職員増員ができず、体制を整えることができなかったが、令和7年度相談体制を見直し、相談対応できる職員育成に取り組んできている。			

## 第3次加賀市社会福祉協議会地域福祉活動計画目標管理票(評価入)

基本目標	健やかで、安心できる生活しやすい体制づくり	実施 年 度	3	○
方策	権利擁護事業・成年後見制度の利用促進		4	○
			5	○
			6	○
			7	○
実施目標	権利擁護事業・成年後見制度の周知及びかが成年後見センターほっこり体制強化			
実施方法 並びに 具体的 取り組み	①PR研修会を開催 ②相談員・後見支援員の確保のための取り組み ③成年後見制度申立て支援 ④成年後見制度を利用する方の積極的受任 (中核機関として成年後見制度推進に努める)			
実施社協	市社協	委員評価		
事務局評価 (評価日) 令和7年9月5日	1. 目標達成できた ② 一部達成できた 3. 目標達成できなかった	1. 目標達成できた ② 一部達成できた 3. 目標達成できなかった		
実践状況	①コロナ等により積極的に開催することができなかった。 ②相談員確保が難しく対応することができなかった。 ③継続して支援を行うことはできた。 ④中核機関となった。社協受任は増加していない。			
評価委員 の意見	令和7年度相談体制を見直し、相談対応できる職員育成に取り組んできている。			

# 地区活動計画

## 大聖寺 地区活動計画書

目 標	災害（地震・水害）に備え、町民を把握するための住民台帳の整備を進める				
強 み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内でおおよその住民は把握している。</li> <li>・敬老会のお菓子配りの際に、毎年75歳以上の住民を調査し、名簿を作成している。</li> <li>・おたっしやサークルなど、高齢者の集いの場が多い。</li> </ul>				
課 題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難行動要支援者名簿の存在を知らない区長がいる。</li> <li>・座談会の趣旨を理解していない区長への対応</li> <li>・住民台帳を統一した様式で作成できるか</li> <li>・住民台帳の保管場所（公民館のない町もある）</li> <li>・個人情報をごとまで書いてもらえるか</li> </ul>				
取 り 組 み	R8 (2026)				
	R9 (2027)				
	R10 (2028)				
	R11 (2029)				
	R12 (2030)				
そ の 他					
座 談 会	【R8(2026)】	【R9(2027)】	【R10(2028)】	【R11(2029)】	【R12(2030)】
き き と り 訪 問	【R8(2026)】	【R9(2027)】	【R10(2028)】	【R11(2029)】	【R12(2030)】

※座談会…開催日、テーマ等記入。ききとり訪問…開催日、参加者記入

## 山代 地区活動計画書

目 標	座談会などを通じて、見守り活動の内容を理解してもらい、協力し活動を実施する。				
強 み	歴史ある温泉に支えられ、総湯がコミュニケーションの場になっている。				
課 題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ アパートが多く住民の実態を把握しにくい。</li> <li>・ 区長、民生委員、福祉協力員などが協力して見守り活動をできるようにしなければいけない。</li> <li>・ ご近所しか詳しい情報がないが、関わりが少ない。</li> <li>・ 福祉協力員の役割や見守り活動が認識されていない。</li> </ul>				
取 り 組 み	R8 (2026)				
	R9 (2027)				
	R10 (2028)				
	R11 (2029)				
	R12 (2030)				
そ の 他					
座 談 会	【R8 (2026)】	【R9 (2027)】	【R10 (2028)】	【R11 (2029)】	【R12 (2030)】
き き と り 訪 問	【R8 (2026)】	【R9 (2027)】	【R10 (2028)】	【R11 (2029)】	【R12 (2030)】

※座談会…開催日、テーマ等記入。ききとり訪問…開催日、参加者記入

## 庄 地区活動計画書

目 標	住民同士のつながりを活かし、見守り支えあい活動を進めていく				
強 み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・加茂町民会館前のベンチが世間話の場になっている。</li> <li>・地区会館と小学校が近いため交流が多い。</li> <li>・有志の方で小学生登下校時の見守り活動を実施。</li> <li>・(加茂)町民会館の清掃を通して、顔の見える関係づくりとなっている。</li> </ul>				
課 題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見守り活動について、つながりが薄い次世代へどうつないでいくかが課題。</li> <li>・見守り活動を行うも、なり手がいない。</li> <li>・各町に災害備蓄品がないため、地区から町へ配布し、分散配置を考えている。</li> </ul>				
取 り 組 み	R8 (2026)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災備蓄品を分散できるよう、各町で把握してもらう。</li> <li>・各町の取組を町の広報で紹介。</li> </ul>			
	R9 (2027)				
	R10 (2028)				
	R11 (2029)				
	R12 (2030)				
そ の 他					
座 談 会	【R8(2026)】	【R9(2027)】	【R10(2028)】	【R11(2029)】	【R12(2030)】
き き と り 訪 問	【R8(2026)】	【R9(2027)】	【R10(2028)】	【R11(2029)】	【R12(2030)】

※座談会…開催日、テーマ等記入。ききとり訪問…開催日、参加者記入

## 勅使 地区活動計画書

目標	住民同士のつながりを深める活動の企画、地域に定着させることを目指す。				
強み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・河川敷には、季節によって、桜、彼岸花が咲き、市外からも訪れる名所になっている。</li> <li>・河川敷に、テーブルとイスを設置し、高齢者の集いの場となっている。</li> </ul>				
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若い世代がサークルに加入しない。</li> <li>・サロン世話人の負担が大きく、立ち上げに至っていない。</li> <li>・子どもの姿を見ない。</li> <li>・ひきこもりなどは把握できていない。</li> <li>・民生委員などの相談窓口は、住民に認知されているか。</li> </ul>				
取り組み	R8 (2026)				
	R9 (2027)				
	R10 (2028)				
	R11 (2029)				
	R12 (2030)				
その他					
座談会	【R8(2026)】	【R9(2027)】	【R10(2028)】	【R11(2029)】	【R12(2030)】
ききとり訪問	【R8(2026)】	【R9(2027)】	【R10(2028)】	【R11(2029)】	【R12(2030)】

※座談会…開催日、テーマ等記入。ききとり訪問…開催日、参加者記入

## 東谷口 地区活動計画書

目標	見守り活動について、住民への周知、見守り体制づくりの再構築、町全体で見守りに対する意識の向上				
強み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 元気に畑に出ている高齢者が多い。</li> <li>・ 3世代交流を行っている</li> <li>・ 地区社協にはいろいろな人が入り運営している。遺族会、老人会、婦人会、福祉協力員など。</li> </ul>				
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 民生委員が、3～4町を掛け持ちしており大変。違う町をみなければならず大変。</li> <li>・ 区長はいろいろな業務があり、なかなか見守りまで手が回りにくい。</li> <li>・ 60～70歳の人が所属するところがない。</li> <li>・ リーダー、世話人が不足。</li> </ul>				
取り組み	R8 (2026)	座談会および勉強会の開催し、横のつながりを強め、組織力の強化を図る			
	R9 (2027)				
	R10 (2028)				
	R11 (2029)				
	R12 (2030)				
その他					
座談会	【R8 (2026)】	【R9 (2027)】	【R10 (2028)】	【R11 (2029)】	【R12 (2030)】
ききとり訪問	【R8 (2026)】	【R9 (2027)】	【R10 (2028)】	【R11 (2029)】	【R12 (2030)】

※座談会…開催日、テーマ等記入。ききとり訪問…開催日、参加者記入

## 片山津 地区活動計画書

<b>目標</b>	住民同士の助け合い、支え合う町、関係機関との連携強化。				
<b>強み</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 総湯が住民の情報交換の場となり、見守りの効果がある。</li> <li>・ 地域と学校がつながっている。</li> <li>・ 花火や各種イベントが定期的開催されている。</li> </ul>				
<b>課題</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 民生委員と区長など関係機関の連携がうまくとれていない。</li> <li>・ 空き家が増えている。</li> <li>・ 見守りなど意識がもっと浸透していければ良い。</li> </ul>				
<b>取り組み</b>	R8 (2026)	各町の状況に応じて、柔軟に座談会などを実施できるとよい。			
	R9 (2027)				
	R10 (2028)				
	R11 (2029)				
	R12 (2030)				
<b>その他</b>					
<b>座談会</b>	【R8 (2026)】	【R9 (2027)】	【R10 (2028)】	【R11 (2029)】	【R12 (2030)】
<b>ききとり訪問</b>	【R8 (2026)】	【R9 (2027)】	【R10 (2028)】	【R11 (2029)】	【R12 (2030)】

※座談会…開催日、テーマ等記入。ききとり訪問…開催日、参加者記入

## 作見 地区活動計画書

目標	各種団体の活動を通して、つながりある関係・地域づくり。				
強み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・おたっしやサークルの設置。</li> <li>・自主防災リーダーが主となり、防災の体制づくり。</li> <li>・児童に向けた防災講座の開催、年1回の防災訓練の実施。</li> <li>・見守り座談会の充実。</li> <li>・民生委員による見守り体制の充実。</li> </ul>				
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区長の見守り、地域福祉への理解不足。</li> <li>・新興住宅地では、表札もなく、顔もわからない状況である。</li> <li>・役のなり手がおらず、団体の解散や関係づくりが難しい。</li> <li>・防災の体制づくりはあるが、発災時、足腰の悪い方への避難誘導、手段が課題である。</li> </ul>				
取り組み	R8 (2026)				
	R9 (2027)				
	R10 (2028)				
	R11 (2029)				
	R12 (2030)				
その他					
座談会	【R8(2026)】	【R9(2027)】	【R10(2028)】	【R11(2029)】	【R12(2030)】
ききとり訪問	【R8(2026)】	【R9(2027)】	【R10(2028)】	【R11(2029)】	【R12(2030)】

※座談会…開催日、テーマ等記入。ききとり訪問…開催日、参加者記入

## 金明地区活動計画書

目標	地区の強みを生かし、より見守りや住民同士のつながりを強化する。				
強み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもから要支援者等の見守り体制が整っている。</li> <li>・年一回の防災訓練の実施により、防災の意識づけを行っている。</li> <li>・地区会館が事務局となり、情報の収集、共有、発信を行っている。</li> <li>・各町に町民会館があり、区長事務所、館長が配置されている。</li> <li>・日ごろの活動から災害時の人員配置まで整備が整っている。</li> <li>・地区で区長会や館長会を実施し、情報交換を行っている。</li> </ul>				
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町により世帯数などのバラつきがあるため、対応や判断が難しい。</li> <li>・サロンなどの必要性はあるが、開催までに至っていない。</li> </ul>				
取り組み	R8 (2026)				
	R9 (2027)				
	R10 (2028)				
	R11 (2029)				
	R12 (2030)				
その他					
座談会	【R8 (2026)】	【R9 (2027)】	【R10 (2028)】	【R11 (2029)】	【R12 (2030)】
ききとり訪問	【R8 (2026)】	【R9 (2027)】	【R10 (2028)】	【R11 (2029)】	【R12 (2030)】

※座談会…開催日、テーマ等記入。ききとり訪問…開催日、参加者記入

## 湖北 地区活動計画書

目標	世代間交流（湖北フェスティバル）を通じて、各町のつながりを深める				
強み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 老人会の活動が活発。（グランドゴルフなど）</li> <li>・ 男性は、青年団、壮年団の流れで老人会に参加する</li> <li>・ 田んぼ、畑が交流の場。元気な高齢者が家にいる。</li> <li>・ おたっしゃサークルが活発。体操など終わった後、茶話会で情報交換を行っている。</li> <li>・ 子ども会があり、行事を通して交流している。</li> <li>・ 防災の組織図は各町、地区としても設置している。</li> </ul>				
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各町により防災意識が異なり、地区で考えるのが難しい。</li> <li>・ 組織図はあるが、具体的なことは決まっていない。</li> <li>・ 地区会館で催しをしても来るのが大変。</li> </ul>				
取り組み	R8 (2026)	座談会の実施 7/9（木）19時30分～			
	R9 (2027)				
	R10 (2028)				
	R11 (2029)				
	R12 (2030)				
その他					
座談会	【R8(2026)】	【R9(2027)】	【R10(2028)】	【R11(2029)】	【R12(2030)】
ききとり訪問	【R8(2026)】	【R9(2027)】	【R10(2028)】	【R11(2029)】	【R12(2030)】

※座談会…開催日、テーマ等記入。ききとり訪問…開催日、参加者記入

## 動橋 地区活動計画書

目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 明るく住みよいまちづくり</li> <li>・ 各種団体などとの横のつながりを大切に活動などを進めたい。</li> </ul>				
強 み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 班長が福祉協力員を兼務しているから毎年交代するが、理解者が増え、裾野が広がる。</li> <li>・ 地区会館と児童センターが併設されていることで、連携・協力できている。</li> <li>・ 見守り研修会などの地区社協行事に、各種団体が協力して下さる。</li> <li>・ 水曜日はサロンの日として、ほぼ毎週、どこかのサロンが開催されている。</li> </ul>				
課 題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 将来的な、担い手不足が懸念される。</li> <li>・ 子どもの遊び場がない。</li> </ul>				
取 り 組 み	R8 (2026)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 見守り研修会を開催することで、区長・民生委員・福祉協力員との連携を強化する。 (5月末頃に開催予定)</li> </ul>			
	R9 (2027)				
	R10 (2028)				
	R11 (2029)				
	R12 (2030)				
そ の 他					
座 談 会	【R8 (2026)】	【R9 (2027)】	【R10 (2028)】	【R11 (2029)】	【R12 (2030)】
き き と り 訪 問	【R8 (2026)】	【R9 (2027)】	【R10 (2028)】	【R11 (2029)】	【R12 (2030)】

※座談会…開催日、テーマ等記入。ききとり訪問…開催日、参加者記入

## 分校 地区活動計画書

目標	「自助・互助」の取り組みを考え、住民同士で支え合う地域づくり。				
強み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・老人会の加入率が非常に高い。</li> <li>・各種団体と地区社協が連携取れている。</li> <li>・まちづくり推進協議会、公民館が地区社協の行事に協力的。</li> <li>・民生委員とのつながりが強い。</li> <li>・町民会館に事務員が配置。</li> <li>・平成15年からチハカ山の古墳保存を分校地区のボランティアで行っている。</li> <li>・箱宮町は世帯数が増えている。</li> <li>・組織建てがしっかりした地区である。</li> <li>・歴史的な遺産から魅力的な自然がある地区である。</li> </ul>				
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分校地区に住む一人暮らし高齢者の実態が分からず把握する必要がある。</li> </ul>				
取り組み	R8 (2026)	座談会で、地域にどのような課題があるかの把握、また自分たちができることを考える。			
	R9 (2027)				
	R10 (2028)				
	R11 (2029)				
	R12 (2030)				
その他					
座談会	【R8(2026)】	【R9(2027)】	【R10(2028)】	【R11(2029)】	【R12(2030)】
ききとり訪問	【R8(2026)】	【R9(2027)】	【R10(2028)】	【R11(2029)】	【R12(2030)】

※座談会…開催日、テーマ等記入。ききとり訪問…開催日、参加者記入

## 橋立 地区活動計画書

目標	誰一人取り残さない災害につよいまちづくりを目指す				
強み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昔からの人が多く、近所は把握できている。</li> <li>・歴史的な町であり、祭りによって地域の一体感がある。</li> <li>・学校も結束されている。</li> <li>・海の幸、山の幸が豊かな町である。</li> </ul>				
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・要支援者の安否確認や避難誘導には課題が残った。</li> <li>・安否確認カードの活用は、町ごとに差があった。</li> <li>・守秘義務の関係で民生委員・区長・地区社協と連携が難しい。情報共有をどうしたらできるか。</li> </ul>				
取り組み	R8 (2026)	・個別避難計画の作成（橋立町、黒崎町、田尻町）をモデルにしながら、9町に拡げていく。			
	R9 (2027)				
	R10 (2028)				
	R11 (2029)				
	R12 (2030)				
その他					
座談会	【R8(2026)】	【R9(2027)】	【R10(2028)】	【R11(2029)】	【R12(2030)】
	8月中旬 1月・・振り返り 会議				
ききとり訪問	【R8(2026)】	【R9(2027)】	【R10(2028)】	【R11(2029)】	【R12(2030)】

※座談会…開催日、テーマ等記入。ききとり訪問…開催日、参加者記入

## 三木 地区活動計画書

目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近所づきあいを大切に、「あいさつ」を交わし合う明るく住みよい町にしよう。</li> <li>・若いも若きも、スポーツ等を励行して、健食、健歩で健幸な町にしよう。</li> <li>・生涯、学ぶ心を忘れず、趣味や学習のサークルに参加し向学の町にしよう。</li> </ul>				
強 み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・みき元気いちばん塾は様々な支援者に支えられている。</li> <li>・防災訓練は各町で行うが地区とも連携がとれている。内容は各町で工夫して防災研修会を実施している。</li> </ul>				
課 題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の役職の担い手不足。</li> <li>・小学校の廃校により地域のつながりがうすくなった。</li> <li>・仕事するところがなく若者が地元に戻ってこない。</li> </ul>				
取 り 組 み	R8 (2026)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・座談会にて、要支援者名簿の確認、情報共有を行う。6月下旬予定。</li> <li>・災害について若い人も交えて考えていきたい。</li> </ul>			
	R9 (2027)				
	R10 (2028)				
	R11 (2029)				
	R12 (2030)				
そ の 他					
座 談 会	【R8(2026)】	【R9(2027)】	【R10(2028)】	【R11(2029)】	【R12(2030)】
き き と り 訪 問	【R8(2026)】	【R9(2027)】	【R10(2028)】	【R11(2029)】	【R12(2030)】

※座談会…開催日、テーマ等記入。ききとり訪問…開催日、参加者記入

## 三谷 地区活動計画書

目標	町内住民の結束を大事にしながら、三谷地区としての横のつながりもきちんと構築できる体制づくり				
強み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地区のために努力してくれる人がたくさんいる</li> <li>・ 色々な人を見守る体制は整っている</li> <li>・ おだやかな地区で、住民も良い人が多い</li> <li>・ 行事は多いが、そのおかげで出る機会や顔を合わす回数が増える</li> </ul>				
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 町ごとの自主防災訓練はしているが、地区としてまとまっていない</li> <li>・ 学校や教員とのつながりが少なくなり、地域の学校という意識が低くなっているように感じる</li> </ul>				
取り組み	R8 (2026)				
	R9 (2027)				
	R10 (2028)				
	R11 (2029)				
	R12 (2030)				
その他					
座談会	【R8(2026)】	【R9(2027)】	【R10(2028)】	【R11(2029)】	【R12(2030)】
ききとり訪問	【R8(2026)】	【R9(2027)】	【R10(2028)】	【R11(2029)】	【R12(2030)】

※座談会…開催日、テーマ等記入。ききとり訪問…開催日、参加者記入

## 南郷 地区活動計画書

目 標	子どもから高齢者まで全世代が一体となった社会福祉事業の実施				
強 み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 区長、福祉協力員、民生委員の連携により町の状況が把握できている。</li> <li>・ 各町の老人会活動が活発に行われている。</li> <li>・ 災害時は地元の企業と連携体制がとれている。</li> </ul>				
課 題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小学校も中学校も分かれている（山代小と南郷小と錦城東小、山代中、錦城中）のため、子どもの交流がない。</li> <li>・ 地区役員（区長や青年団など）の成り手不足。</li> <li>・ 南郷小が避難場所になっているが、学校まで行く道が狭くがけ崩れの恐れがある。</li> <li>・ アパートなどの集合住宅の住民は把握できていない。</li> </ul>				
取 り 組 み	R8 (2026)	座談会は8月中旬頃に実施。			
	R9 (2027)				
	R10 (2028)				
	R11 (2029)				
	R12 (2030)				
そ の 他					
座 談 会	【R8(2026)】	【R9(2027)】	【R10(2028)】	【R11(2029)】	【R12(2030)】
き き と り 訪 問	【R8(2026)】	【R9(2027)】	【R10(2028)】	【R11(2029)】	【R12(2030)】

※座談会…開催日、テーマ等記入。ききとり訪問…開催日、参加者記入

## 塩屋 地区活動計画書

目標	絆を大切に、つながりをさらに強める				
強み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 塩屋地区＝塩屋町</li> <li>・ まちづくり推進協議会と区長会が一体となり、組織がしっかりしている</li> <li>・ 近所みんな把握できている</li> <li>・ 塩屋独自の見守り体制が整っている（平成17年9月1日より実施）</li> <li>・ 平成24年よりファーストレスポonder導入</li> <li>・ 元気はつらつ塾が10年継続し、10年同じ人が見守っている</li> <li>・ 祭りになると町外にいる若い世代も帰省し団結する、塩屋愛強い</li> </ul>				
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高齢者率高い</li> <li>・ ずっと家いる高齢者の様子が分からない</li> <li>・ 子どもが少ない</li> <li>・ 地区の小学校、保育園がない</li> <li>・ 空き家多い</li> <li>・ 役員のなり手少ない</li> </ul>				
取り組み	R8 (2026)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高齢者見守りネットワーク更新前に、区長、民生委員ですり合わせを行う。</li> <li>・ 新年度には、新区長と民生委員で情報を共有していく。</li> </ul>			
	R9 (2027)				
	R10 (2028)				
	R11 (2029)				
	R12 (2030)				
その他					
座談会	【R8(2026)】	【R9(2027)】	【R10(2028)】	【R11(2029)】	【R12(2030)】
ききとり訪問	【R8(2026)】	【R9(2027)】	【R10(2028)】	【R11(2029)】	【R12(2030)】

※座談会…開催日、テーマ等記入。ききとり訪問…開催日、参加者記入

## 山中 地区活動計画書

目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域資源（歴史・場所・人）を活用しながら、つながりを作る・つながりを広げていく</li> <li>・みんなが出来ることをしていく町になる</li> </ul>				
強み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総湯を中心とした地域のつながりが強い（情報交換・ゆるやかな見守り等）</li> <li>・防災訓練を各地区・各種団体に盛んに実施している。</li> <li>・歴史ある地区なので、郷土愛のある地域住民や観光資源が多い。</li> </ul>				
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢化率が高い。老人クラブなど各種団体に担い手不足を感じる。</li> <li>・コロナ後も縮小化したままの行事があり、つながりが弱くなってしまった団体もある。</li> </ul>				
取り組み	R8 (2026)				
	R9 (2027)				
	R10 (2028)				
	R11 (2029)				
	R12 (2030)				
その他					
座談会	【R8 (2026)】	【R9 (2027)】	【R10 (2028)】	【R11 (2029)】	【R12 (2030)】
ききとり訪問	【R8 (2026)】	【R9 (2027)】	【R10 (2028)】	【R11 (2029)】	【R12 (2030)】

※座談会…開催日、テーマ等記入。ききとり訪問…開催日、参加者記入

